



杉並区議会だより

【発行】杉並区議会 【編集】区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>



令和2年度予算を可決!!

主要事業の一つとして（仮称）荻外荘公園の整備推進と復原に向けた機運醸成を進める予定です。（写真は荻外荘公園で楽しく遊ぶ子どもたち）

今号の掲載内容

予算の成立過程、予算編成方針	2
予算のここを聞く！代表質問	3~5
区政を問う 一般質問	6~8
予算についての意見発表など	9・10
委員会の活動報告など	11
議案等の概要と審議結果	11・12

令和2年 第1回定例会

保育の質の確保などに重点

2月12日に開会した第1回定例会は新型コロナウイルス感染症に対する補正予算等の審議のため、会期を延長して3月26日までの44日間にわたり開かれました。

初日に区長から令和2年度予算案について説明があり、これを受けて各会派の代表6名が質問を行いました。予算案は全議員による予算特別委員会を設置し、内容を審査しました。

また第1回臨時会が4月20日に1日間の会期で開かれ、新型コロナウイルス感染症関連の議案を審議しました（会議の審議結果は11・12面をご覧ください）。

議会が区の予算案を厳しくチェック！

区長から提出された予算案について、「本当に必要な事業なのか、税金がどのように使われるのか」を区議会ですっかりと審査しています。

本会議（初日）

予算編成方針の説明

区の執行部が新年度の予算案を作成し、区議会に提出します。区長から、どのような方針で予算案を作ったのか説明されます。



本会議 (予算編成方針の説明後)

代表質問

区長の説明に対し、各会派の代表が質問を行います。



予算特別委員会

予算案を審査

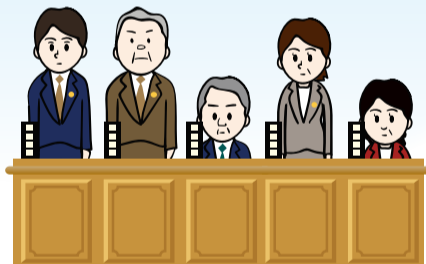
全議員参加の委員会を開き、予算案について細かく審査を行います。（詳しくは10面下段をご覧ください）



本会議

議決

予算特別委員会の審査を受けて本会議で採決を行い、可決されると新年度予算が成立します。



◆令和2年度当初予算

一般会計	1,937億9,600万0千円	(前年比2.5%増)
特別会計		
国民健康保険事業会計	526億7,420万7千円	(前年比2.5%減)
用地会計	42億8,951万4千円	(前年比14,993.8%増)
介護保険事業会計	469億8,969万6千円	(前年比3.7%増)
後期高齢者医療事業会計	141億6,930万4千円	(前年比2.2%増)
合計	3,119億1,872万1千円	(前年比3.2%増)

区長の予算編成方針（抜粋）

新年度予算が基本構想の終期を目前に控えた予算であることから、「10年ビジョンの成果を確かなものとする予算」と命名した。以下、予算編成方針の基本的な考え方について述べる。

第一に、令和3年度の基本構想の終期を見据えて、実行計画及び協働推進計画並びに行財政改革推進計画の取組に要する経費を確実に予算に反映させた。

令和2年度は、総合計画の最終段階「ジャンプ」の2年目に当たり、計画期間は残すところあと2年となる。取組の中には、計画の終期を見据え、取組を加速させていかなければならない施策もある。

最終的な目標達成に向けて、計画事業ごとに一層注力していくことができるよう、必要な予算の反映に努めた。

第二に、基礎自治体として、区民福祉の向上を図るために、取り組むべき喫緊の行政課題について、真正面からしっかりと受け止め、対応していくために必要な予算を計上した。

防災・減災対策の推進、防犯カメラの増設、駅周辺のまちづくりや都市計画道路の整備、児童虐待施策の推進、安全で質の高いがん検診の実施、認可保育所の施設整備や保育の質の確保、学童クラブの施設整備など区民生活を取り巻く喫緊の課題について、時機を逸することなく取り組むため、重点的に予算措置を行った。

第三に、令和の時代においても、持続的に区民福祉の向上に努めていくため、財政の健全性の確保に努めた。

基幹収入たる特別区民税や税率引き上げ等の影響から地方消費税交付金を増収と見込み、前年度以上の歳入を見込んでいる。

一方で、法人住民税の国税化の拡大などによる特別区財政交付金の減収や、ふるさと納税による減収など、区財政を取り巻く環境は、今後ますます厳しくなるものと考えている。

加えて、保育関連経費や会計年度任用職員制度の導入に伴う職員人件費など歳出予算も大幅に増加している。

そのため、行政財産の有効活用など歳入の確保や必要経費の精査による歳出削減を図るとともに、「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」に基づき、足元の行政需要にしっかりと応えつつ、新たな行政需要にも、将来にわたって迅速・的確に 대응していくため、財政の健全性を確保した予算編成を行った。

予算のここを聞く!

代表質問

2月12日・13日に各会派の代表6名が区長の予算編成方針について質問しました。
その要旨をお知らせします。

さあ、令和の幕開け！
新時代を翔ける杉並の
“道標”策定を！

杉並区議会自由民主党
大和田 伸



問 「令和の新時代」が平和で希望に溢れた時代となるために、その決意を問う。

答 常に時代の先を見据え、先手を打って課題に果敢に挑戦していく。

問 世界中で猛威を振るう新型コロナウイルス。スピード感を持った現場対応が求められる。

答 全庁あげて緊張感をもって対応にあたっては、事態拡大局面では私(区長)自ら陣頭指揮をとる。

問 現行の基本構想は令和3年度に終期を迎え、翌年度からは「新基本構想」をスタートさせる。その「新基本構想」の検討のために設置する審議会の概要はどのようなものか。

答 近未来の本区のあるべき姿を見据えて、多彩な分野からの専門家にご参加いただくことで、区の取り巻く様々な課題に対し、幅広く議論を行っていただきたい。

問 「新基本構想」における財政運営のルールをどのように位置づけるのか。

答 区の財政状況や財政指標の有効性等を検証し、必要があれば見直す。

問 区長が所信表明において主張する、都に対し「基礎自治体の長として区民の視点に立って考え行動を起こしたい」との真意は、何か政治的なアクションを起こす可能性があるのか。

答 不合理な点等があれば、直接、あるいは区長会を通じて意見するなど問題提起と改善のための発案を行っていく。

問 私たちが要望をしてきた「危険ブロック塀」改善の助成拡大について大いに評価をする。

答 新年度より区内全域の幅員4m以上の道路に助成対象を拡大し、危険ブロック塀等の撤去及び新設に対して50万円を限度に助成する。

問 東京2020大会のレガシーについて。将来の「スタンド付き総合体育館」の整備等に繋がるような大きな意気込みを期待する。

答 大きな可能性があることを承知しているが、広大な土地の取得等の課題もある。条件が整った際に引き続き検討する。

問 障害当事者の「住み慣れた地域で安心して暮らし続ける」という想いに寄り添うためには、「緊急時の相談・受入体制の充実」が欠かせない。

答 今回事業所をコーディネートは、緊急時を想定した対応計画を作成するとともに、その際の当事者への対応や支援者等との調整を行う。併せて、緊急時に受入可能となる場の確保に向け、宿泊機能のある施設と協議を進めていく。

問 新年度から始める「後期高齢者歯科健康診査」の実施は健康寿命の延伸等にも必要不可欠であり、会派として大いに評価をする。

答 高齢者の口腔機能の回復・維持・向上を図り、健康寿命の延伸につながるよう本歯科健康診査を実施する。後期高齢者医療制度に加入している76歳を対象とし、自己負担は無料を予定している。

問 保育の待機児童数について。本年4月には「ゼロ」の継続なるか。

答 昨年4月時点と比較して、1123名増となる認可保育所定員を確保した。今後、丁寧なマッチング等を行うことにより、「待機児童ゼロ」を継続出来る見込みである。

問 児童・学級数が増加をする中、普通教室が不足する区立学校があり、天沼小では校庭に校舎を増築することである。

答 認可保育所の増設は評価するが、その周辺の学校や学童クラブ等との連動は出来ているのか。

答 当該校については通学区域の見直し等も早急に検討していく。学童クラブのスペース確保も早期に具体的な対策をとりまとめる。



変化への対応力を高め、
誰ひとり取り残さない
社会の実現へ

杉並区議会公明党
渡辺富士雄



問 「新たな基本構想で57万区民の夢を描く」とのテーマのもと、来年度より新たな基本構想に着手することだが、50年先を見据えた上での、最初の10年間と位置付けるような構想の策定をしていただきたい。

答 施設や道路などのインフラは次世代に引き継がれる遺産として残るものである。新たな基本構想は概ね10年の期間設定となるものではあるが、未来を見据える視点を持って、構想の策定に取り組んでいく。

問 最新のテクノロジーをとことん研究し尽くし質の高い情報化政策を進めることはEBPMの取組へ繋がっていく。一層の行政改革と政策課題を解決し、よりきめ細やかな区民サービスへの向上の実現を目指す杉並行政へと進化させていきたい。

答 ビッグデータ等を活用する仕組みをつくり、それをベースに政策立案を行っていくことが必要と認識。データの収集、分析、検証などにICTをどう活用していくか研究していく。

問 通電火災に最も有効な感震ブレイカーについてさらなる普及拡大に踏み切る理由と詳細は。

答 設置世帯が「面的」に広がることでより大きな効果を得られるため、令和2年度は助成対象地域を拡大して普及に努める。

問 「平和首長会議総会」開催に合わせ広島へ中学生が派遣されるが、これを機に、平和の尊さを学ぶ機会となる中学生派遣事業を継続してはどうか。

答 平和の大切さを次世代に伝える平和学習の機会を作りたいと考えており、2年度以降の実施については教育委員会とも相談しながら検討する。

問 商店会の補助金不正受給問題では、既に区からの請求額は全額返還されているということだが、地域は大変疲弊している。今後の当該商店会の信頼回復と支援に区も全力で当たっていたいただきたいと考えが所見を伺う。

答 今後は区として様々な機会を通じて、地元商店街の信頼回復と商店街振興に向けた取組を全力で支援していきたい。

問 我が会派で提案した「フードシェアリングサービス」に行政が関わる目的と事業内容は。

答 「食へのこし」応援店事業をさらに拡充させるため、「フードシェアリングサービス」を運営している事業者と協定を締結することにより、相互に事業のPRを行い、事業者からの食品ロスの削減を図っていく。また、

た、区民にとっても手軽に社会貢献できるものであることから、行政としても積極的に関与する。

問 人生100年時代を迎えても、こうした世の中動きに合致した方向性が必要と考えるが区の所見を問う。

答 高齢者の知識・健康・人間関係を育み、新たな社会モデルへのチャレンジを後押しするよう、事業の充実・強化を図る。

問 区内の全ての保育施設における「保育の質」の維持向上を図るために、今後どのように取り組んでいくのか、令和2年度に予定している新たな取組の意義等を含め、見解を伺う。

答 地域懇談会の開催や実践的な研修の実施、また、新たに園庭を確保する場合に所要経費の一部を区独自に補助する制度を創設するなど、総合的な取組を通じて、各保育施設における保育の質の維持・向上を着実に図っていききたい。

問 区立小中学校体育館へのエアコン設置が着実に進んでいることは大いに評価できる。設置した学校での反響について伺う。

答 学校からは、体育館での授業や行事等で、熱中症の発症も低減され、伸びやかに活動ができることに対し、感謝する声が多く寄せられている。学校開放で利用している区民からも大変に好評である旨の報告も学校を通じて頂いている。



用語説明 ※1 基本構想=杉並区の目指すべき将来像を示すものであり、区民と区が共有し、力をあわせてこれからの杉並区を築いていくための指針
※2 EBPM (Evidence-based Policy Making) = 証拠に基づく政策立案。政策の企画立案を、政策効果の測定に重要な関連を持つ情報やデータ(エビデンス)に基づくものとする

過大な基金積み立てを 改め、23区でも 遅れた施策の拡充を



日本共産党杉並区議団
山田耕平

となる均等割りの解決は急務。独自軽減を実施する自治体もあり、区として実施の検討を。

問 国保制度は非常に厳しい。年々、保険料が上がっていることを憂慮しているのは事実。法定外繰入は特別区長会の合意に基づき段階的に縮小すべき。

答 国保制度は非常に厳しい。年々、保険料が上がっていることを憂慮しているのは事実。法定外繰入は特別区長会の合意に基づき段階的に縮小すべき。

問 毎年度、財政調整基金を積み増し昨年末は主な基金総額は605億円に。積み立て優先でくらし支援の財政投入が脇に置かれることは許されない。前年度特別区決算状況比較で杉並区の財政調整基金積立額は83億1700万円強。23区平均の20億9000万円強を大きく上回る。過大な積み立てを改め住民要望に応じて施策の拡充を。23区比較で人口当たり社会福祉費は20位、社会教育費は21位。とりわけ低い現状を正すべき。

答 積立額は23区で一番多い状況。大規模災害や経済事情の変動に備えるもので過大ではない。他区との比較は予算額の多寡で測ることは適当ではない。

問 人口当たり老人福祉費は23区中15位。財政調整基金は23区最高の積み立てをしながら、区民生活に関わる施策は他区比較で廃止や未実施の事業がある。区は予算額僅か800万円程の見守り配食サービスを廃止したが多くの区では実施。難聴支援の補聴器購入助成や給付を行う自治体も。助成実施の検討を。

答 補聴器等の助成は、高齢者



問 国民健康保険料の連続値上げは深刻。国保改革で値上げが進められていることは許されない。被保険者の所得水準が低いのに負担が重いのは構造的な問題。法定外繰り入れ廃止は、さらなる負担になる。廃止すべきでない。子どもが多いほど重い負担

実態調査結果を分析。ケアマネの意見等を聞き、福祉用具全般の見直しを検討する予定。

問 親子後の障害者の住まいは依然として不足。施設整備の加速を。移動支援事業の見直しは当事者の声を反映し、他区の実施事例は区でも実施の検討を。

答 親子後の生活の場の確保は喫緊の課題。活用可能な用地の情報収集と検討に努め、不動産の福祉的活用を促進を図っている。移動支援事業の見直しは当事者からの意見や要望を踏まえ「見直しの視点」を作成。

問 地方教育費調査報告書では各区の児童一人当たり小学校教育費支出額は2015年19位、翌年20位等、連続して低い。教育条件整備で際立って低いのが学校トイレの洋式化。23区比較で連続後退し前年度は22位。子ども達に必要な予算措置を行い、整備を進めるべき。

答 趣旨を承り検討する。洋式化は大局的な流れ。進めていく。区民意向調査で児童館が無くなるのは残念、住民の意向に沿っていない等の声。形式的に声を聞くのでなく尊重すべき。

問 今後の児童館の再編に際し、丁寧な説明及び意見交換を行う。区の取組に対する理解を深める。

問 「ニシオギ空想新聞」という情報誌が道路整備を認識していなかったという声を紹介。住民や商店で計画見直しを求める声があつていく。補助132号線・133号線は住民の声を受け止め計画の再検討を。

答 地域の実情に応じた良好なまちづくりに繋がるよう道路整備を進める。



補聴器等の助成は、高齢者

平和推進、人権擁護、 環境配慮を 常に考えていく



立憲民主党杉並区議団
太田哲二

問 「ごみの発生自体を減らす」意識をもって、無駄や浪費を減らすライフスタイルを通し、ごみをゼロに近づけ、持続可能な社会を実現する取組と認識。

問 森林環境税を杉並区民はいくら支払うのか、そして森林環境税と税がいくらか交付されるか。

答 令和6年度から住民税納税義務者一人当たり年額千円を徴収し、これにより区が徴収する額は約3億円になる。譲与税は元年度に2千万円、2年度の予算として約4千6百万円が交付される見込みである。

問 口腔ケアの基本は「正しい歯の磨き方」と思う。区はどのような情報発信をしているのか。

答 口腔ケアの基本は「正しい歯の磨き方」と思う。区はどのような情報発信をしているのか。



問 乳幼児期には歯が生える前から相談に応じ、母親学級等でも母子の口腔の健康について啓発している。成人・高齢期には歯周病予防教室の開催等を行っている。また、全世代を対象に「よい歯健口フェスティバル」を開催し、歯科医師等の専門職からアドバイスを行っている。

問 後期高齢者医療制度の保険料の減免制度で、生活困難者の利用はゼロ人である。すみやかに、分かりやすい案内チラシをつくってほしいと考えるが。

答 東京都後期高齢者医療広域

東京都後期高齢者医療広域

議 会 日 誌

《1月》
8日 議会運営委員会

28日 文教委員会（視察）

《2月》

3日 議会運営委員会

12日～14日 本会議

17日 本会議

18日 議会運営委員会
本会議

19日 予算特別委員会

20日 区民生活委員会

21日 保健福祉委員会

25日 都市環境委員会

26日 文教委員会

27日 総務財政委員会

28日 災害対策・防犯等特別委員会

28日 道路交通対策特別委員会

《3月》
2日 文化芸術・スポーツに関する特別委員会

3日 議会改革特別委員会
議会運営委員会

杉並区の新基本構想はNPO や子どもを含む市民参加で策定を！

いのち・平和クラブ
そね文子



問 環境優先の考え方を根底に新基本構想の策定を。保育緊急事態宣言のように気候危機に対しても区が旗振り役となつて取組を進めてほしい。また、あらゆるまちづくり政策にグリーン



問 新基本構想の策定はNPO等も含む幅広い区民とともに取り組むべきであり、その上で基本構想を推進していく。パートナ

答 日常の生活や事業活動を意識・改善することで大きく環境への影響が変わるということを周知・啓発し、区民が環境に配慮した行動を選択していくよう推進する。基本構想策定に際し、グリーンインフラの視点をまちづくり政策へ反映させていく。

問 体育館へのエアコン設置はその素早い対応を評価しつつ、教師へのエアコンの適正運用の徹底と、子どもへの省エネ教育をどのように進めるのか。

答 教員が児童・生徒の健康を考慮しながら適正な利用を行うよう各学校に周知した。区立学校においては、環境問題についての学習や環境保全活動等を通して、地球環境を考え行動できる児童・生徒の育成を図っていく。

問 国に、収集運搬費・中間処理費も事業者に一定の負担を課すなど拡大生産者責任の強化・徹底を要望するとともに、分別及びリサイクルが容易な製品開発及び普及促進の義務付けなど、

問 区長の平和首長会議総会への出席と中学生の広島訪問の意義と予定について伺う。

答 子どもが平和について考える機会をつくることは大人の役割であり、平和首長会議総会が広島市で開催されることから、区内中学生と同市を訪れ被爆の実相に触れる体験学習を予定するとともに、8月6日の式典出席についても主催者と協議する。

インフラの考え方を入れ込むことを求めるが、区の見解を伺う。
答 事業者自体が発生抑制や再使用を進め、資源が円滑に循環するシステムの構築を求めている。

問 全ての保育施設の保育の質の維持向上を図っていくには直営園の果たす役割は重要。今ある直営園は今後もそのまま残すべきと考えるが区の見解は。
答 持続可能な財政運営を行うつつ多様なニーズを踏まえた保育施策の拡充を図るには、区立園の民営化等は不可欠であり、新たに4園の民営化等を決定した。これ以外の区立園民営化については「質の確保」の視点も考慮しつつ、十分検討していく。



問 同じ場所でも、個別的教育のニーズに最も応える指導を提示できる、多様な柔軟な仕組みを整備することが重要である。

問 区はインクルーシブ教育システムの構築のために特別支援教育を推進しているが、真の共生社会を目指すには、障がいがある子もいない子も同じ場所共に学ぶことが必要だと考える。教育委員会の見解は。

問 令和2年度一般会計の歳出予算規模は、前年度比2・5%増で過去最大を更新。着実に大きな政府に向かっていくようにも感じるが、所見を伺う。
答 計画事業に要する経費や喫緊の行政課題に対応するため必要な経費を予算計上するとともに、財政の健全性の確保に努めた予算編成を行っていることと自負している。

「時間軸」と「目標達成意識」を持った区政運営を

自民・無所属・維新クラブ
岩田いくま



問 令和2年度に新基本構想(令和4年度開始)の検討を始めるに当たり、現区政10年間の区政運営について総点検を行うべきと考えるが、所見を伺う。
答 基本構想の審議の中で、こ

問 令和2年度は小学校で新学習指導要領が全面实施となる。杉並区における対応及び目指す教育の姿について、所見を伺う。

問 令和2年度から、杉並区でも内部統制体制を導入する。導入初年度に向けての所見を伺う。
答 内部統制導入の意義を職員と共有し、全庁一丸となって取組を進めていきたい。

れまでの取組実績の検証を行っていききたい。
問 現在想定されるスケジュールでは、新基本構想が始まる前に首長選挙が行われることが想定される。場合によっては早々に軌道修正を余儀なくされかねないが、こうした懸念に対する所見を伺う。
答 区政を預かる区長として空白期間を生じさせることは許されるものではないと考えている。

問 7月1日から、法令改正によりレジ袋の有料化が義務化されるが、「杉並区レジ袋有料化等の取組の推進に関する条例」については今後どうするのか。
答 国の有料化義務化に合わせ、所用の条例改正を行う。その後、義務化に伴う削減状況の把握・分析を行ったうえで、条例の見直し等について検討する。

問 商店会の補助金不正受給問題を踏まえた再発防止策の一つとして、都区間で認識に齟齬のない「協賛金に関する会計処理の明確な文書化」は図られたか。
答 疑義が生じたものは、随時都に照会し、明確化を図ったうえで、商店会に文書で周知する。

問 「富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針」は令和2年度に策定予定。1月末に駅改札前にてパネル展示が行われたが、①来場者数②パネル展を開催した意義について所見を伺う。
答 ①延べ約1000名②当該地域における現状と課題等について、区民の方々に広く理解と意見を頂く場として開催。

推進による地域共生社会の実現を目指す。②成年後見センターの機能強化し、成年後見制度の利用促進と利用者支援の仕組みの整備・充実を図っていく。



◆杉並区立小中学校の施設企画・設計に関する陳情(2陳情第5号)

4日	本会議
5日・6日	予算特別委員会
9日・10日	予算特別委員会
11日	議会運営委員会
12日・13日	予算特別委員会
16日	議会運営委員会
26日	議会運営委員会 保健福祉委員会 総務財政委員会 議会運営委員会 本会議(再開)
13日	議会運営委員会
20日	本会議 総務財政委員会 議会運営委員会 本会議(再開)
27日	議会運営委員会

区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

2月13日・14日、17日・18日に17名が質問しました。その要旨をお知らせします。

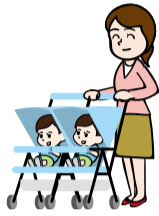
少子化に対する取組、多胎育児支援、ICT教育環境ほか



松本みつひろ (無維)

問 人口予測と実績に乖離がある場合、最新の実績に基づいた計画をすべきと考えるが見解は。
答 将来人口推計の他、指摘のとおり最新実績含む実績の推移等を考慮して子ども子育て支援事業の見込みを算出している。

問 すこやか赤ちゃん訪問の場面で、区の子育て支援事業の登録作業を一部でも行えないか。
答 赤ちゃん訪問では育児状況の把握や相談・助言を行い、子育て支援事業の情報提供も実施登録手続きに当たっては詳細な家庭状況や利用の希望を聴く必要があるため、別途各所管で対応することが適切と考える。



商店街振興施策としての、キャッシュレス決済推進を！



わたなべ友貴 (自民)

問 国は普及率80%を目標にキャッシュレス決済の普及に向け様々な施策を行っているが、区は区内商店などへのキャッシュレス決済普及の重要性についてどのように認識しているか。
答 キャッシュレス決済の導入は、利便性の向上や経理事務の効率化を図るうえで重要な取り組みである。東京2020オリンピック・パラリンピック開催による海外からの来街者の増加予想や、若者を中心としたキャッシュレス利用者の急速な増加は、個人商店にとって切り替えの好機であると認識している。

問 キャッシュレス決済によって、個人商店の「現金のコスト」が大幅に削減でき、かつ、「データを活用する」ことにより、効率経営に資することになる。すなわち、キャッシュレス決済の推進は、個人商店への直接的な支援に他ならないと考える。そこで区は今後、個人商店へのキャッシュレス決済普及に向けて、どのように取り組んでいこうと考えているか。
答 キャッシュレス決済は個人商店が自らの意思で導入していくものと考えている。



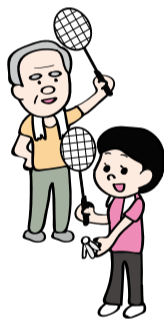
東京2020大会と杉並区のスポーツ施策を問う



大熊昌巳 (自民)

問 スポーツの持つ潜在的な力をどう受け止め、どのように施策に生かせるのか区長に問う。
答 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、世界中の人々は選手が全力で競い合う姿に感動するだろう。そこには国や人種、性別、障害などを越え、全ての人の心が一つになる姿があり、これこそがスポーツのもつ潜在的な力であると受け止めている。こうしたスポーツの力を生かし、区では市民体育祭やスポーツ教室等を通して、区民の一体感の醸成や地域コミュニティの活性化などを推進しており、オリンピック・パラリンピックを契機にさらに充実を図っていく。

問 富士見丘小・中学校の体育施設を地域のスポーツ資源とできるのか問う。
答 総合型地域クラブの立ち上げには活動の場の確保が課題となるため、富士見丘小学校のグラウンドは、総合型地域スポーツクラブ活動の場として候補の一つとなりえると認識している。富士見丘中学校については、学校の教育活動時間外の地域での管理等は今後の検討課題である。



人生100年時代の杉並区政について



今井ひろし (自民)

問 超高齢化社会を見据え、これからの在宅医療と介護の連携を問う。
答 「在宅医療・生活支援センター」を設置し、関係者間の連携と信頼関係の醸成に努めてきた。マニュアルづくりや研修会の開催などの取組も展開しており、在宅医療体制の強化を図り、地域福祉の向上を目指している。

問 国が介護予防・地域支援事業を拡充させるなか、区としても充実させるべきではないか。
答 フレイル予防の視点を取り入れ、事業内容を見直してきた。令和2年度は、各事業の会場数と開催回数を拡充していく。



地域BWAの賢明な活用を！網膜色素変性症患者支援を！



川原口宏之 (公明)

問 総務省は地域BWAを活用した公共サービスの向上を推奨。今後の区立施設のWiFi化について、区の考えを問う。
答 WiFiスポット設置に当たって改めて設置・運用方針を定め、災害対策として活用する施設等を優先することとした。

問 今後の障害者施策も、障害者の視点に立ち、足りない部分を補いつつ更なる充実を図っていくべきと考えるが区の考えは。
答 障害種別等に応じたきめ細やかな施策の展開に努めており、ご提供の視覚障害分野の貴重な情報にも留意し取り扱っていく。



区民の参画と協働を、実績を踏まえ一層の推進を強く求める



山本あけみ (立民)

問 基本構想策定に向け区と区民の協働の実績を踏まえ、さらなるステップアップを要望する。
答 区民力をさらに引き出し、並ならでの協働を前進させることが大切。進むべき方向性等について幅広く意見を頂きたい。

問 すぎなみ協働プラザは協働推進の核として今後も活躍を期待。今後区はどう連携を図るか。
答 行政課題や地域課題を共有し共に参加と協働による地域社会づくりに取り組む。

問 環境活動推進センターが環境分野の核となり、新しいステージを目指すよう要望する。
答 地球規模の危機も原因は人々の日常生活や事業活動から。区民等が課題を自分事として捉え行動していくことが重要。具体的取組に繋げるよう努め、区で住民協議会を設置し、地権者や関係団体などに止まらず幅広い区民の意見を聴取し纏めていくよう要望するがいかかがか。

問 富士見ヶ丘駅周辺まちづくりで住民協議会を設置し、地権者や関係団体などに止まらず幅広い区民の意見を聴取し纏めていくよう要望するがいかかがか。
答 既存の地域団体等との関係性他、さまざま課題。既に認定されている「富士見丘まちづくり協議会」を始め幅広く意見を伺い方針策定の取組を進める。





杉並区の自衛官募集業務の実態... 開発について質問



ほらぐちともこ (革新)

区の自衛官募集業務の実態... どのようになっているか。

自衛隊東京地方協力本部... からの依頼に基づき、広報すぎなみへの募集記事の掲載等を行っている。

2017年1月に佐藤総合... 計画が提出した報告書では、河北病院跡地への移転をはじめ、杉一小建て替え方針についてどのような報告がされたのか。

現地建て替えを行うA案と... 病院移転後の跡地に移転改築するB案について、配置や規模など複数の視点から委託業者が比較検討を行い、A案の場合、当初予定したスケジュールで進めることができるほか、発災時の安全性が高い等のメリットが挙げられた一方、敷地が狭いことや仮設校舎が必要になる等の課題が挙げられた。これに対しB案の場合、敷地が広く静かな環境であることや、仮設校舎が不要になる等のメリットが挙げられた一方、学校の開設時期がA案より最短で約7年遅れることや、水害発生時の敷地の浸水リスクといった課題が挙げられた。

母と子の笑顔輝く、子育て支援ナンバーワンの自治体に！



山本ひろ子 (公明)

国の母子保健法が改正され... 自治体の産後ケアの充実が求められている。産後ケア事業の拡充について区の見解を問う。

子育て支援をより一層充実... する観点から、産後ケア事業の今後の在り方を令和2年度中に検討する。産後ケアセンターも含め総合的な視点で考えていく。



子育て応援券の見直しで産... 後サービスに係る利用限度額を引き上げた経緯を問う。

区に寄せられた意見等を踏... まえ、利用者負担を軽減し、利用促進を図るため、今後より利用しやすい環境を整える。

温暖化対策の抜本的な強化を。ジェンダー平等社会の推進へ



くすやま美紀 (共産)

気候変動は、区民の命と安... 全にもかかわる重大問題。区に責任と役割をどう認識するか。

温室効果ガスの削減に取り... 組むとともに、区民等が危機を

都が打ち出した「2050... 年度CO2排出量実質ゼロ」に、区はどう対応するのか。

区民や事業者とも連携を図... り、しっかりと取り組んでいく。

他区で実施するHEMS... など省エネ設備への助成②マンション共用部分のLED化への助成③エネルギー消費削減の効果

認知症、放課後等デイサービス、移動支援事業について



酒井まさえ (共産)

認知症の方もいきいき暮ら... せるように、大綱の目標を踏まえ、①認知症サポーター、②キヤラバメント、③認知症カフェのますますの拡充が必要だと考えるが、区の見解を問う。

区民や事業者に講座の受... 講を働きかける②フォローアップ研修によるスキルアップを図る③地域の活動を支援していく。



放課後等デイサービスを、... 国の通達に沿い、支給日数や学童クラブ併用による制限はなくし、支給日数を増やすよう求めるがいかかか。

障害者の余暇・社会参加の... 外出については、自宅以外も起

富士見ヶ丘通りを安心して買物できるように区長の政治姿勢について



金子けんたろう (共産)

区民意向調査では、富士見... ケ丘駅周辺商店街の道路が狭く、子どもを駅まで歩かせることが大変不安であるとの声があった。こうした問題の解決のためにまちづくりがあるべきと考えるが、区としても課題があると認識。安全な歩行空間の確保等について検討し、安全・安心で快適な買い物環境づくりを進める。

公用車について、昨年9月... に5回新宿へ、11月に1回中野へいづれも片道だけ運行し、このうち4回は秘書も同乗していない。この6回は公務なのか。



基準では区長の自宅と公務... が行われる場所の間の移動に公務として区長車を利用できることとしており、秘書の同乗の有無に関わらず、これに準ずるものとして区長車を利用している。

区長の政治資金団体「杉並... を良くする会」の平成30年の収支報告では、区長へ現金で3回寄付されたことになっているが、区長選挙の収支報告の記載では、1回は事務所の無償提供となっている。どうということなのか。

新型コロナウイルス感染症対策について問う



佐々木千夏 (正理)

新型コロナウイルス対策に... マスクや消毒剤が必要と考えるが、区ではこれらを備蓄しているのか。消毒剤は区立施設などどのような所に置いているのか。

手指消毒剤6000本とマ... スク約80万枚を備蓄しており、今回の新型コロナウイルス感染症対応にはこの備蓄品を活用している。手指消毒剤は地域区民センターなど不特定多数の区民が利用する施設や区立小中学校・保育園等に配備している。

新型コロナウイルスに感染... もしくは感染の恐れがある場合の医療機関受診の流れを問う。

新型コロナウイルスの感染... が疑わしい方は、まず保健所に設置した帰国者・接触者電話相談センターに電話していただく。その中で感染症の疑い例に該当する方には、保健所が調整の上、診療体制を整えた医療機関を案内し、その医療機関を受診する。

地域で活躍している消防団... 員についての認識は。

長期閉庁時の生活相談体制、失業者家賃支給制度、飲酒教育



奥山たえこ (杉耕)

長期の休みで、収入が途絶... える人がいる。福祉事務所はこの年末年始どのような態勢で対応したか。住居確保給付金の支給状況は。

区役所本庁舎の時間外窓口... と連携した緊急連絡体制の整備、民生委員や近隣病院などへの協力依頼と連絡先の周知。緊急に衣食住が必要となった方のため自立支援センターと事前調整を行った。

原則3カ月の家賃相当分を支... 給するもので経済的困窮者を救済する上で、有効な制度。昨年SNSで取り上げられたことから相談が増え、利用者数が昨年度は56件、今年度も50件を超えるペースで増加。制度が有効に活用されるよう努めていく。

現代日本はアルコール度数... 9%の缶チューハイなど、酒が安く簡単に手に入る。飲酒問題についてどう教えているか。

小学6年・中学3年で、飲... 酒が心身に与える影響について自ら考えたり、未成年の段階で飲酒を勧められた時の行動の仕方について実践的に学んだりする学習に取り組み、健康的な生活を送る力を育てている。

用語説明

杉並芸術会館(座・高円寺)を、杉並区民の手に取り戻せ!



田中ゆうたろう (美杉)

問 同館の提携事業として、昨冬上演されたプロパガンダ劇『憲法くん』を観た区長の感想は。

答 せっかく憲法という大きなテーマを扱いながら、矮小化。一番極端な左派の考え方に立って、他方を攻撃。中間層や詳しくない人達に問題提起する内容ではない。自己満足で残念だ。

問 佐藤信芸術監督の責任は。

答 この作品は、区と日本劇作家協会とのパートナーシップ協定に基づき推薦された。監督が選定したものではない。

問 では、タッチしていないということか。何のための監督か。

答 同館の主催・提携事業は、芸術監督による基本方針に基づき、事業を選定している。

問 指定管理者の交代時期は。

答 現在の任期は来年3月末日まで。次期管理者を今年4月に公募し選定の上、第3回区議会定例会にて審議いただく。

問 桃園川のせせらぎを甦らせるプロジェクト実行委員会主催の同館での市民劇で、都財団の助成金や協賛金が、区への決算書に未計上。都に情報提供せよ。

答 適正な記載を指導徹底する。情報提供の必要はないと考える。



田中区長は区議会での居眠り、議事妨害などを改めよ



松尾ゆり (杉わ)

問 区議会での区長の居眠りやいびきが常態化している。また、委員会での「いつまでやるんだ」との不規則発言は議事妨害である。謝罪し、妨害をやめるよう求める。

答 区長は真摯に議会に臨んでいる。委員会での発言は正午を回っての審議で出席者の健康に気遣ったもの。

問 阿佐ヶ谷駅北東地区の換地計画で、河北病院用地等の換地後、杉一小用地が誰のものになるのか、情報公開請求しても黒塗りでわからない。黒塗りを撤回して明確な資料を提供するよう求める。また、非開示の理由は「企業活動に著しい不利益」としているが、具体的客観的な説明を求める。

答 売買に関する問い合わせ等が寄せられるなど、当該法人の業務に支障をきたす。

問 ある不動産鑑定士によれば、現在の杉一小の土地は、指定された移転先の3倍以上の価値があるとの評価であり、杉並区は大損になる。仮換地を撤回し計画を見直すよう求める。

答 土地評価は適正かつ公平と認識しており見直す考えはない。

誰一人取り残さない社会を!防災、障がい者雇用、平和推進



大槻城一 (公明)

問 昨年の台風の際、河川氾濫時に避難所へ行けない高齢者等が課題に。豪雨災害拡大が想定される中、避難所増設の検討を。

答 地域防災計画の見直しに合わせ開設場所など検討を進める。



問 本年、他区に先駆け、事務補助の障がい者採用を開始。障がい者雇用進展を強く希望し議会が質問を重ねてきた立場から高く評価。施策の将来像を伺う。

答 昨年、障害者雇用促進法改正で、自治体の責務として率先した障害者雇用が規定された。障害者自身が持つ能力を最大限に発揮できる、職場環境づくりを推進していく。

問 国連防災機関の「災害に強い都市の構築」を進めるキャンペーンへの参加は、自治体間連携を推進する当区にも有効では。

答 自治体が国連と連携し防災に関する知見等を各都市と共有することは大切であり検討する。

問 区が参加する平和首長会議に関連するノーベル平和賞受賞団体ICANは、世界の地方自治体が核兵器禁止支持を表明する取組を推進。当区の参加は。

答 平和首長会議の一員として、核兵器廃絶へ連携していく。

2020年区政の課題 職員・教員の大量退職



堀部やすし (無)

問 区長は2月12日の本会議で政府の経済見通し(実質1.4%、名目2.1%の成長)を踏まえ、税収等の増収を前年度以上に見込んでいると説明したが、政府の経済見通しは過去10年のうち8年で外れて予測を下回るなど実現性に疑問がある。過大な見積りではないか。

答 政府と基本的に同様の認識だが、歳入算定は納税義務者数等の基礎数値や都の財政見通し等を参考に適切に行っている。

問 かつて独自に区費で採用した約120人の正規教員は何人になるか。このペースで減少すると10年後が心配であり、対応を検討しなければならぬ。

答 新年度69人となる見込み。区独自の小学校全年30人程度学級の実現に50人を充当しており、対応を検討する必要がある。



問 任期4年が本来である杉並区議会議員の1年交代が続いている。区が交流自治体と位置づけている各自治体議長との在任期間はどうなっているか。都市間交流の維持発展に課題がある。

答 国内交流自治体の議長在任期間は、4年が3自治体、2年が6自治体、1年が1自治体。

みなさんからの写真でポスターを作っています!

募集内容

杉並区内で応募者自身が撮影した、表情豊かな人物写真で、未発表の作品。
※写っている人物の許可を得ていること。

応募方法

データまたはプリントで①撮影者の住所・氏名・電話番号、②撮影場所・撮影年月日・被写体についての簡単な説明を明記してください。

杉並区議会では、年4回(2月・5月・9月・11月)の定例会の開催をお知らせするポスターに使う写真を、年間を通じて募集しています。

宛先

- 郵送・持参の場合：杉並区議会事務局広報担当まで
- メール(データ添付)の場合：kugikai-j@city.suginami.lg.jpまで(受信容量に制限があるため容量を5MBまで縮小し送ってください。メールの件名は「区議会ポスター写真応募」としてください。)

* 応募の際の個人情報は、本目的以外に使用しません。区議会ホームページに詳細を載せています。

お問い合わせ：区議会事務局 広報担当



令和2年度予算について

意見発表

予算特別委員会の最終日に、各会派から予算の賛否について意見の発表がありました。その要旨をお知らせします。

新型コロナウイルスから区民の生命と財産を守り抜く！

杉並区議会自由民主党

杉並区議会自由民主党は、①国や都との連携や支援を図りながら、持続可能で効率的な行財政運営を行うことができるか②区民の喫緊の課題に定める内容となっているか③基本構想の実現に向かって計画的に前進しているかという視点で予算を審査した結果、一般会計予算・各特別会計予算はじめ、付託された全ての議案に賛成する。

持続可能な行財政運営か

歳入の多くを占める特別区税が対前年比で増となったことは好ましく、国・都支出金が増えていることは区の前向きな姿勢の結果である。他方、国の不合理な税制改正やふるさと納税により減収し、都市部の自治体の声を無視する政策により特別区財政交付金も減となった。基金と区債をバランス良く活用し、持続可能性に重きを置いて予算案を編成したことは評価している。「財政健全化と持続可能な財政運営を確保するためのルール」を意識し、今後も健全な財政運営にあたるよう要望する。

喫緊の課題に定める内容か
新型コロナウイルスへの対策が急務となる中、情報弱者が多いと言われる高齢者や障害者の方々への配慮を強く意識し、最も身近な基礎自治体としての役割を果たすよう要望する。区内経済については、区も緊急融資

当初步算案に計上した額と実行計画上の金額が概ね近く、施策も妥当なものであり、基本構想の実現へ順調に進捗している。ただし現段階で施策の進行が遅れが見られるものもあり、ひとつひとつの目標を必ず達成していただきたい。基本構想の将来像を実現した暁には、しっかりとその検証を行った上で、議会にもそのまとめを示していただくように強く要望する。なお新基本構想の策定に際しては、国連で採択された行動計画「SDGs」、ITを駆使した新しい経済の動きである「シェアリングエコノミー」に留意して取り組むことも要望する。世界の潮流を見極めながら、区政施行100周年の節目も視野に入れつつ、共に新しい時代を切り拓く基本構想をつくっていききたい。



脇坂たつや

生命と財産を守るため「危機を乗り越える」財政措置を！

杉並区議会公明党

杉並区議会公明党を代表して一般会計予算、各特別会計予算並びに関連諸議案について、賛成の立場から意見を申し述べる。

さらなる「安全・安心」へ

本区は「首都直下地震に対する死者ゼロを目指す」との力強い目標を掲げ防災・減災対策を推進している。この度、ブロック対策に区内全域の道路を対象とした助成制度を創設したこと、通電火災を予防する感震ブレーカー設置地域を拡大したこと、先の目標や区民の要望に応えるもので高く評価する。

保健福祉分野では、特別養護老人ホーム1000床に向けて着実に施設整備が実行され、また、希望する全ての子どもが認可保育所に入所できる環境の整備も、達成間近に迫り、保育の質の確保、園庭確保、公園づくりと次の段階へ進んでいることとは特筆すべき点である。今後は介護職員や保育士の処遇改善にも注力するよう要望する。

ひとり親世帯へのサポートを
ひとり親世帯へのアンケートでは約5割が新型コロナウイルスの影響で収入が減る、無くなると回答。本区は、子育てセーフティネットの充実として、ひとり親家庭に対する相談・支援窓口を本庁に集約化し、日常生活や就労等の安定に向けた支援を実施すること、タイ

区民の生活を守るために
政府は、新型コロナウイルス感染症対策として二度にわたり対応策を打ち出し、本区でもこの財政措置の一部に対して、今年度の補正予算案が組まれた。今後もこうした国の動きに速やかに対応する一方で、必要に応じて機敏に区独自の財政出動も行い、区民の生活を守っていただくよう要望する。また、人員が必要と予測される窓口業務やその他業務には、予め人員を配置するなど事前の備えを万全に、迅速な対応をお願いしたい。



山本ひろ子

税と社会保険料の負担増はもう限界。溜め込み金の活用を！

日本共産党杉並区議団

令和2年度杉並区各会計予算と関連議案に対し意見を述べる。まず新型コロナウイルスについて、感染防止と命と暮らしを守るために区が責務を果たすべき。住民への迅速な情報提供を実現し、高齢者世帯にも速やかな情報提供を求める。また、国の支援に漏れる方が出ないように、区として実態把握に努めてほしい。

溜め込み金の活用で負担軽減を

安倍政権による消費税10%増税で、区民生活に大きな影響が出ている。来年度予算が、区民生活を守るための予算となっていないかが大きく問われている。

国保料は均等割額が18年連続値上げ。年収400万円4人世帯は年額51万円余りと10年前の保険料の2倍以上とあまりにも重い負担となる。法定外繰入の継続で値上げをストップさせ、子どもの均等割額軽減等、子育て世帯の負担軽減実施を求める。この間、使用料の値上げも進められ施設によっては3倍以上に。低所得者世帯の利用を守るためには値上げは許されない。今回は体育施設の値上げだが、プロメの8割となる反対の声を、区が切り捨てたことが質疑で明らかとなった。こうした姿勢を改め2015年の大幅値上げ前の水準に戻すことを強く求める。

税や社会保険料・施設使用料などの負担増の一方、区は財政調整基金を大幅に積立している。基金残高は458億円と、9年

かねてより求めてきた公契約条例が提案された。現場労働者の処遇改善に向け、より充実した条例となるよう求める。以上の理由により、一般会計予算・特別会計予算には反対、公契約条例には賛成する。



富田たく

効率的効果的な行政運営を進め人と地域に寄り添う区政を！

立憲民主党杉並区議員

新型コロナウイルスへの対応を

区内病院・事業者における感染者の確認など様々な課題があり、早急な対策が望まれる。

政府による学校の休校要請に關しては、当区議団も要望した児童の学校の受け入れに対応したことを評価する。しかし唐突な政府の要請により、現場は混乱した。政府の判断は多くの国民の理解が得られないと考える。

本区の新型コロナウイルスへの経済対策として無利子の中小企業資金融資が始まる。経営相談は、融資相談だけでなく借金返済猶予のアドバイスを強烈に取り組みよう要望する。

人と地域に寄り添う施策を

財政運営では、一般会計と4つの特別会計の総予算額は、3119億1872万となり、前年度と比べて95億9954万の増と過去最大。歳出が膨らむ中で、必ず来る首都直下型地震への備えをするなど、行政を効率的効果的に運営していかねばならない。

次に、会派として個別施策について以下、要望する。①災害対策として障がい者や高齢者などへのインクルーシブ(包括的)防災を進めること。②西荻窪商店会連合会の補助金不正受給問題などの同様の問題が起きぬよう、再発防止の仕組みを強化すること。③公園整備の際は、



関口健太郎

住民を巻き込むワークショップなどを開催し、多くの住民意見を聞く姿勢に努めること。④生活が困窮している高齢者や、これから老後への不安を抱える方に対して、生活相談やライフプラン相談などを強化すること。

⑤学校建築に關しては、建築士や保護者、学校関係者、周辺の住民等、各方面の意見を踏まえての熟慮の場を作ること。また、経過報告を早期に行い、区民の理解が得られるよう努めること。

国民健康保険への熟慮を

国民健康保険は年々区民負担が大きくなり、現在は制度疲労にある。当区議団としても所得割の減免制度周知と利用促進を求め、区では取組を進めてきた。しかし抜本的な解決を図るためには、持続可能な制度にしてい

くよう大きな枠組みで再考する必要がある。国への更なる働きかけや要望をするよう求める。以上、当会派からの要望を真摯に受け止め、区政を進めていくよう取り組みを求め、一般会計予算と各特別会計予算に賛成する。

安心安全の暮らしの保障と環境重視施策で区民福祉の向上を

いのち・平和クラブ

いのち・平和クラブは区民福祉をいかに支え向上させるか、緊急を要する課題に定める予算となっているかを検討した。

安全・安心のまちづくりを評価

災害に強いまちづくりの推進では、地震や異常気象による被害の恐れが高まる中、会派要望にこたえ、昨年実施したブロック塀対策を区内全域の危険箇所

に拡大したことを評価する。また震災救援所でのプライバシー確保のため、要配慮者用テントや乳幼児親子への配慮としての液体ミルクが災害備蓄品に加えられたことも評価。さらに、要望してきた雨水タンクの助成再開を評価する。制度再開を広く区民に周知し、一人ひとりができる雨水活用の意義を発信してい

くよう要望する。みどり豊かな環境にやさしいまちをめざし、新たな公園の開園整備を積極的に進めていることを評価。整備にあたっては地域住民の合意形成を丁寧に進めるよう要望する。

公契約条例については、23区では7番目の制定となったが、継続勤務を保障するなど対象が拡大されている。本条例が働く人々の労働環境整備に役立つことを期待する。

社会的弱者にやさしいまちへ

健康長寿と支えあいのまちについて。区が特養ホーム待機者



奥田雅子

解消という喫緊の課題に積極的に取り組んだ姿勢を評価。またより質の高い介護へと向かうために研究を重ねていく積極的な姿勢を確認。その成果が建設中の大規模特養にも活かされるよう期待する。

障害者の移動支援の見直しについては、当事者や家族、団体への意向調査をふまえて、要望に沿った改善となるよう期待する。

次代を担う子どものために人を育み共につながる心豊かなまちに向けて、児童クラブの待機児童解消のために、児童館の学童クラブ専用館への転用や学校敷地内への第2学童クラブの設置などに努めていることは重要。営利を追求する株式会社への委託が安易に進められないよう求める。また、学校給食の牛乳パックの処理については子どもたちへの環境教育の視点でリサイクルを判断するまでの区教委の努力もわかり、今回のチャレンジを応援する。

以上の理由から、杉並区一般会計予算と各特別会計予算に賛成する。

コロナから区民の健康と命を守り緊張感を持った財政運営を！

自民・無所属・維新クラブ

財政規律の面から予算を分析

次年度の予算規模は過去最大となったが予算査定にて約40億円の歳出削減が図られた。

区債は田中区政史上2番目の発行額となるが、区債発行総額の65%が用地会計からの再取得経費であることや、財政計画から3億4000万円ほど圧縮しており、区債残高は前年度比2億円減少となることを評価した。他方、基金からは総額51億4700万円の取崩しとなるが、財政計画より3億6300万円の減額を図り基金維持に努める姿勢が見られた。また近年の基金積戻し実績から順当なら年度末にリカバーできると判断した。

しかし昨今のコロナ感染拡大で急速に景気が悪化しており、歳入不足に陥る可能性がある。よって次年度予算の執行にあたっては緊張感を持つこと。

また財政運営ルールの筆頭に掲げられている維持すべき基金額350億円を活用するような局面に陥った際には、財政非常事態宣言など平時からの転換を表明した上で区民等へ十分な説明と丁寧な対応を求める。

計画目標値への予算化を分析

我が会派は過去、計画の目標達成の状況が芳しくないことを再三指摘してきた。このような中、区長は予算編成方針等において「進捗が遅れが見られる施策がある」ことを認め問題意識を持つていることを表明した。そこで質疑を通じて遅れを取り戻すための予算措置や手法について個別に確認した。



藤本なおや

なお先行き不透明な次年度において予算化された計画事業は着実に進めつつコロナ対策事業以外の計画外事業は厳に慎むよう求める。

新型コロナの感染拡大が懸念されている現在、区民の健康と生命を守ることが区政の最大ミッションとなっている。我々は二元代表制の一翼を担う議会としての責任を果たすべく遅滞なく、コロナ対策の今年度末補正予算と併せて次年度予算を「13カ月予算」とみなし、切れ目なく執行させることが大切であると考える、これまで述べた理由も勘案して予算に賛成をする。

コロナ対策に関し以下要望する

・区民の健康維持に資する情報を適時適切に提供すること。
・区民の問い合わせには、迅速かつ丁寧な対応を心がけること。
・衛生備蓄品は福祉の担い手へ必要十分に配布すること。

予算特別委員会とは

区長から提案された令和2年度予算案を審査するため、全議員で構成する予算特別委員会を設置しました。3月4日から16日までの9日間にわたり、各歳入歳出について、区への質疑等を行いました。(議案第4)18・25・30(34・42号)

区の予算は多岐にわたっているため、質疑は予算を使いみちごと(総務費、保健福祉費、都市整備費など)に分け、その内容を詳しく審議しました。

予算特別委員会の様子は、区議会ホームページの録画中継(動画)や会議録(5月下旬掲載予定)でご覧になれます。

- ▽委員長 小川宗次郎委員
- ▽副委員長 中村 康弘委員



新型コロナウイルス感染症対策として、できるだけ人が密集しないよう、議員・理事者とも人数を絞りながら開会しました

なお、掲載されている意見のほか、次の会派からも意見の発表がありました。
・共に生きる杉並
・杉並わくわく会議
・正理の会
・杉並を耕す会
・無所属
・美しい杉並
・都政を革新する会

区議会情報公開の運用状況

杉並区議会情報公開条例第22条に基づき、平成31年1月～令和元年12月の運用状況をお知らせします。

情報公開請求件数 20件

決定状況	件数	決定日	請求内容
公開	7件	平成31年1月4日	杉並区議会議長の日程表
	8件	令和元年5月24日	区議会改選で請願・陳情が継続されない根拠となる法律・条例等
		令和元年6月3日	平成30年度政務活動費の領収書の一部
		令和元年6月6日	令和元年5月20日第1回臨時会本会議の欠席届
		令和元年6月17日	令和元年6月3日第2回定例会本会議の欠席届
		令和元年10月4日	令和元年9月11日第3回定例会本会議の発言取消申出書
		令和元年10月10日	令和元年9月12日第3回定例会本会議の発言取消申出書(2件)
一部公開	4件	令和元年10月10日	令和元年9月26日第3回定例会本会議の欠席届
		令和元年5月22日	平成27年5月から平成31年4月までに付託された請願・陳情の審査結果及び審査状況の資料等
		令和元年6月12日	杉並区議会議員の任期満了時に請願・陳情が継続されず、審議未了となることを決定した全ての文書等
		令和元年8月6日	杉並区議会だよりの発行開始年月等や正副議長、議員選出の監査委員を1年ごとに選出している根拠
非公開	1件	令和元年7月19日	平成30年度政務活動費の領収書のすべて
		令和元年9月19日	議長・副議長選挙の得票数を区議会HP、区議会だよりに公表しない根拠となる文書等

常任委員会・特別委員会等の活動をお知らせします(1～4月)

議案審査における議案各号の概要と審議結果は、11・12面をご覧ください。

常任委員会

◇総務財政委員会

【開会日】	2年2月26日
【議案審査】	第1・19～24・26号
【所管事項調査】	杉並第八小学校跡地施設の今後の取組について ほか4件
【開会日】	2年3月16日
【議案審査】	第44号
【開会日】	2年3月26日
【議案審査】	第46号
【開会日】	2年4月20日
【議案審査】	第48・49号

◇区民生活委員会

【開会日】	2年2月19日
【議案審査】	第2・37号
【所管事項調査】	広島平和学習中学生派遣事業について ほか9件

◇保健福祉委員会

【開会日】	2年2月20日
【議案審査】	第27～29号
【所管事項調査】	移動支援事業の見直しに関する取組状況について ほか11件
【開会日】	2年3月26日
【議案審査】	第45・47号

◇都市環境委員会

【開会日】	2年2月21日
【議案審査】	第3・35・36号
【所管事項調査】	都営住宅の区への移管について ほか11件

◇文教委員会

【視察日】	2年1月28日
【視察内容】	さざんかステップアップ宮前教室、荻窪教室、天沼教室
【開会日】	2年2月25日
【議案審査】	第41号
【陳情審査】	2陳情第5号
【所管事項調査】	新教育ビジョンの策定に向けた取組について ほか10件

議会運営委員会

【開会日】	2年1月8日
【議 題】	令和2年第1回定例会の日程について ほか
【開会日】	2年2月3日
【議 題】	定例会の提案事項について ほか
【開会日】	2年2月18日
【議 題】	定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】	2年3月3日
【議 題】	定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】	2年3月11日
【議 題】	定例会の追加提案事項について ほか
【開会日】	2年3月16日(2回開催)
【議 題】	議案審査結果報告について ほか
【開会日】	2年3月26日(2回開催)
【議 題】	議案審査結果報告について ほか
【開会日】	2年4月13日
【議 題】	臨時会の提案事項について ほか
【開会日】	2年4月20日
【議 題】	議案審査結果報告について ほか
【開会日】	2年4月27日
【議 題】	臨時会の招集請求について ほか

特別委員会

◇災害対策・防犯等特別委員会

【開会日】	2年2月27日
【所管事項調査】	「3.11を忘れない」等の取組について ほか2件

◇道路交通対策特別委員会

【開会日】	2年2月28日
【所管事項調査】	外環道の進捗状況について ほか1件

◇文化芸術・スポーツに関する特別委員会

【開会日】	2年3月2日
【所管事項調査】	新たな事前キャンプ希望国の受入れについて ほか5件

◇議会改革特別委員会

【開会日】	2年3月3日
【所管事項調査】	議会基本条例について

* 予算特別委員会の審査議案については10面「予算特別委員会とは」をご覧ください。

議案等の概要と審議結果【第1回臨時会】

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 令和2年4月20日議決

議案番号	件名	概要	議員											結果				
			自民	公明	共産	立民	平和	無維	共生	杉わ	正理	杉耕	無		美杉	革新		
48号	杉並区職員の特務手当に関する条例の一部を改正する条例	防疫等業務手当の特例の設定	○	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	可決
49号	令和2年度杉並区一般会計補正予算(第1号)	新型コロナウイルス感染症対策に係る経費として、入院体制強化及び外来体制強化等の東京都感染症診療協力医療機関向け補助に係る経費など6事業24億7,864万4千円の増額補正	○	○ 欠1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	可決

